ハンドマイク街頭演説原稿例　パーティー券問題　隠ぺい許すな

二〇二三年十二月九日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　自民党の派閥が開いた政治資金パーティーの収入をめぐって、いろいろな問題が噴出しています。自民党内最大の派閥である安倍派では、所属議員がパーティー券の販売数のノルマを超えて集めた分の収入を政治資金収支報告書にのせず、議員側に返すキックバックが組織的に行われていたとされます。こうやって作られた裏金の総額は２０２２年までの５年間で１億円以上とみられます。他の派閥でも同じ手法の裏金づくりがあったと報じられており、自民党全体にかかわる重大問題です。自民党は事実を明らかにするべきです。

　政治資金を集めるためのパーティーは法律で認められていますが、パーティーに関する収入と支出は政治資金収支報告書にしっかり記録することも法律で決められています。派閥によるパーティーの場合は、派閥側と議員側の両方に報告の義務があります。それを安倍派ではキックバック分について両方とも報告書に記載せず、裏金にした疑いを持たれています。現在、東京地検特捜部が政治資金規正法違反の容疑で捜査しています。

　この疑惑について、安倍派の幹部の皆さんはまともな説明をせず、質問されてもちゃんと答えようとしません。説明責任を投げ捨てるもので、許されないことです。一方で、同じようなことは他の派閥でも行われているとの声も出ています。そうであれば、自民党全体の問題となります。自民党の党首・総裁である岸田首相に、事態を調査し国民の前に明らかにする責任があります。

　さらには、政府の重要閣僚である松野官房長官が、一千万円を超えるキックバックを受け取り、それを政治資金収支報告書にのせなかった疑惑も持ち上がっています。閣僚として適切かという以前に、国会議員としての資格が問われる大問題です。松野さんは以前安倍派の事務総長をつとめており、以前からこの疑惑についての説明を求められていましたが、「答えは控える」とはぐらかし続けていました。自分自身のキックバックの問題になっても、まともに答えようとしません。もう答えを控える状況ではありません。自分の疑惑を含め、しっかりと説明すべきです。また、このような人物を官房長官という重要ポストにすえている岸田首相の任命責任も厳しく問われます。

　日本共産党は、企業や団体からの政治献金はどうしてもワイロの意味合いが強くなるため、禁止すべきだとずっと主張してきましたし、党としても一切受け取っていません。パーティー券購入を含め、企業・団体からの献金を禁止し、金権政治の根っこを断つことを、改めて強く訴えます。

　みなさん、実はこの問題がおおやけになったきっかけは、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」の報道でした。タブーなく真実を伝える「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）